

横浜港大さん橋国際客船ターミナルにて「飛鳥Ⅲ」への LNGバンカリングが実施されました ～クルーズ船へのLNGバンカリングは国内初～

横浜港を母港とする新造クルーズ船「飛鳥Ⅲ」に対して、6月10日及び11日に横浜港大さん橋国際客船ターミナルにて、**Truck to Ship方式（裏面参照）によるLNGバンカリング***が行われました。クルーズ船へのLNGバンカリングは国内初の取組です。

今月2日に横浜港に到着した「飛鳥Ⅲ」は、日本のクルーズ船としては初めて、重油・軽油・LNG（液化天然ガス）の計3種の燃料を使用できるトリブューエルエンジンや陸上電力受電設備を搭載し、環境への負荷に配慮したエコシップです。

今回のバンカリングでは、2日間で延べ4台のLNGローリー車を使用し、「飛鳥Ⅲ」にLNG燃料を供給しました。

横浜市は、日本を代表するクルーズ発着港として多くのクルーズ船を受け入れるとともに、2050年の脱炭素社会の実現を目指し、国や民間事業者等との連携によりカーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた取組を進めます。

※ バンカリングとは、船舶で使用する燃料を供給することを言います。

1 LNGバンカリングの様子



横浜港大さん橋国際客船ターミナルDバースに停泊する「飛鳥Ⅲ」への東京ガスケミカル株式会社によるLNG供給の様子
※左写真の「霧状の物質」は、低温（マイナス162℃）のLNGにより周囲の空気が冷却されたものです。裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 飛鳥Ⅲシップデータ

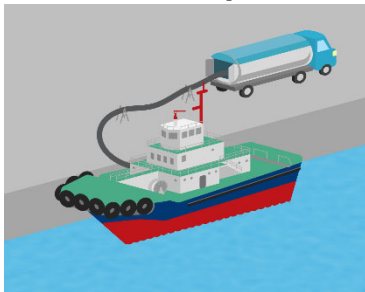


「飛鳥Ⅲ」 郵船クルーズ株式会社提供

- 船名 : 飛鳥Ⅲ
- 船籍港 : 横浜
- 全長・全幅 : 230m×29.8m
- 総トン数 : 52,265GT
- 総客室数 : 381室
- 乗客定員 : 740名
- 乗組員数 : 約470名
- LNG燃料タンク容量 : 560 m³
- 就航 : 令和7年7月20日
(令和7年6月時点)

(参考1) バンカリングの方法について

(1) Truck to Ship



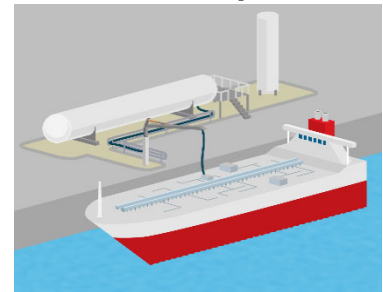
岸壁に着岸し、ローリー車から船舶へ燃料を供給する。

(2) Ship to Ship



岸壁・棧橋に着岸・着棧中の船舶に燃料供給船が接舷し、船舶から船舶へ燃料を供給する。

(3) Shore to Ship



燃料を供給可能な岸壁・棧橋に着岸・着棧し、陸側施設から船舶へ燃料を供給する。

(参考2) 横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組

我が国を代表する港湾である横浜港を擁する横浜市は、次世代エネルギーによる船舶や臨海部産業のエネルギー転換の促進等、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や臨海部産業の集積等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラルポート（CNP）」を形成し、2050年の港湾におけるカーボンニュートラル実現を目指しています。



横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組



お問合せ先

(飛鳥Ⅲの受入について)

横浜市港湾局客船事業推進課長 小野 史絵 Tel : 045-671-7237

(LNGバンカリングについて)

横浜市港湾局政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長 中村 仁 Tel : 045-671-7279

(飛鳥Ⅲについて)

郵船クルーズ株式会社広報・ブランド戦略チーム長 遠藤 陽子 Tel : 045-640-5226



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

